

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長門市児童デイ・ケアセンターあゆみ		
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士、日々のミーティングや子どもの様子について情報を共有している	支援前の『9時からミーティング』と支援後の様子を情報共有しながら記録を書いている。ヒヤリハットがあればその日のうちに改善点を話し合い、迅速な対応をしている。また、職員会議は2ヶ月に1回実施しており、各月で研修を行いながらケース検討会や支援スキルの向上に努めている	職員内でスマホアプリを活用した情報伝達や日々の記録を読み返すなど、それぞれができることに取り組みながら担当のお子さんの情報を収集する仕組みを定着させる
2	地域に開かれた事業所であるために事業所の開放日を設けている	イベントや季節の行事を開催、研修の企画を考えながら事業所内に地域の方を招待できるような仕組みを考えている。また、地域の資源や人材と交流を深めながら地域と一緒に生活する取り組みを企画している	企画・開催する研修や行事案内を地域に周知しながら参加者を増やしていく。役所や関係機関と連携を図りながら仲間を増やしていける体制をつくる
3	保護者との連携を図るために懇談や参観日を設けている	年4回の懇談を実施し、日々の様子を連絡帳を用いて伝えている。家庭によっては個人懇談を実施したり、研修のなかで『おしゃべり会』を開催している	関心をもってもらえるテーマを調査したり、聞き取りのなかで保護者が求めている話題や学習したいことをリサーチする。また、個人ではなく、グループでなにか取り組めるような企画を考える

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園・保育園との交流や地域のなかで他の子どもとの活動をする機会がない	地域との連携が図れていないため、まずは隣接する保育園との連携や親交を深める	新しい場に向くことはハードルが高いが、慣れた環境(事業所)であれば子どもも安心できるため、事業所に招いて収穫祭やまつり等の行事を楽しむ
2	事故防止マニュアル等の作成や非常災害時についての対応が不十分だと感じる	年に1回、保育園と総合避難訓練を実施しているが、周知がされていない	隣接する保育園と日々の避難訓練も合同で行えるように連携を図ったり、役所と災害時について細やかな決まりを確認しながら避難訓練等を検討していく
3	父母の会等がないため、保護者同士の交流の場が少ない	交流の場を設けたいと考えているが、人員の確保が難しいため親身になって話を聞く機会が設定できていない	親子ふれあい活動の際には、準備や片付け、その後の時間を用いて食事会やカフェなどを企画し、保護者同士の交流の機会を設定する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 長門市児童デイ・ケアセンターあゆみ

公表日 令和6年11月26日

利用児童数 2024/10/1現在 34名 (32家庭)

回収数 30家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	4	2	1	廊下でキックボードなど衝突が心配ではあるが、何が危険で何に注意しなければいけないかを学ぶ機会にしてほしい 少しせまいかと思えます 好きな物で遊べる空間があり、過ごしやすいと思えます	構造化の推進を目指しながら安全面にも配慮した環境を設定する
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	0	4	職員さんの負担によっては、検討すべき「先生！」と言う園児一人ひとりの声にきちんとすぐに対応できている	ハローワークに求人を求めると同時に連携・協力していただける仲間を増やす体制を整えながら支援力の向上を図る
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1	0	2		他施設の見学を実施し、必要な研修を通して支援力の向上を図る
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	27	2	0	1	いつも感謝してます 一人ひとりにカードがあり、終わったら外したり、分かりやすい	引き続き、必要な研修を通して支援力の向上を図る
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1	1	1	園児一人ひとりの特性に合った対応、声かけができています	定期的に懇談や送迎時を通じて保護者の意向を聞き取り、一緒に考えるなかで本人に合った支援を提供していく
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1	0	2		支援の内容を具体的に伝え、本人に合った支援を提供していく
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1	0	1	いつも感謝してます 一人ひとりにカードがあり、終わったら外したり、分かりやすい いつも分かりやすく説明して下さり助かっている	定期的に懇談を実施しながら保護者の意向を聞き取り、本人の思いを尊重した内容を一緒に考えていくように努める
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2	0	2		ガイドラインの徹底
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1	0	0		保護者・職員間との連携と情報共有の徹底
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	3	0	4		曜日によってプログラムを構成し、わくわくするような内容を考えたり、子どもからの発信を大切に 他施設の見学し、情報交換をする 隣接保育園との連携強化
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	2	1	7		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	2	0	0		誰が見ても分かるような形で提供できるようにする
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		誰が見ても分かるような形で提供できるようにする
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1	0	3	普段接することのない保護者と話すことができてありがたい	あしすとパートナー事業の広報活動の強化
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	2	0	0	いつも悩みを聞いて下さり助かっている	基本の徹底
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	0	0	0	いつも心が救われる	基本の徹底
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2	0	0		基本の徹底
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	1	1	8	本人から姉への暴力や悩みを聞いてもらい、娘も助かりました	茶話会や保護者参観日、おしゃべり会などの周知 保護者が足を運びやすい環境や時間にイベントを設定する	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	2	0	2	相談すると子どもにも聞いて下さり、その返事も教えて下さり助かっています	基本の徹底
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	4	0	0		基本の徹底
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	2	6		毎月の便りで写真を多く取り入れながら、活動の様子を発信していくホームページの活用
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1	0	1		基本の徹底
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	0	0	7		便りで徹底通知
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1	0	2	地震の時に子どもがテーブルの下に隠れてました	毎月2回、避難訓練の実施 隣接する保育園と合同避難訓練を実施している
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	3		基本の徹底
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2	1	4		基本の徹底
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1	0	1	連絡帳に普段の様子がよく書いてあり、安心しております いつも「楽しみ」と言っています	子どもとの約束はしっかり守りながら、好きなことを一緒に楽しむ またやりたいと感じられる体験をより多くつんでいく
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	0	連絡帳に普段の様子がよく書いてあり、安心しております 「明日は○○コピーしてくるね」と次の日が待ち遠しいようです	基本の徹底
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	2	0	0	連絡帳に普段の様子がよく書いてあり、安心しております	今後とも保護者の方や子どもたちに寄り添った支援を提供していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 長門市児童デイ・ケアセンターあゆみ

公表日 令和6年11月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	コーナーを区切って設定している。	その場に合った環境を設定するように心がけている
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	適切であるが、子どもの状態等により人員不足と感じるときがある 人員の確保が重要	ハローワーク求人を求めながら人員確保に努めている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	職員会議のなかで自己評価の結果を共有し、問題解決に向けての話し合いや保護者からの意見を真摯に受け止めながら業務改善にあたっている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0		風通しのいい環境を心がけている ひとりひとりに声をかけ、日々の体調面や悩んでいることについて聞き取りを行うようにしている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0		法人で運営会議を行い、出席した者が復命することで情報を共有するようにしている
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		職員間で話し合った内容やアイデアを取り入れて作成している
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0		所属園の先生にも懇談に同席していただきながら個別支援計画の共有をしている
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0		日々、子どもの目標を明確にしながら支援にあたっている
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	定期的な懇談の実施	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		話し合いのなかで支援内容を決め、子どもに必要な項目を設定している
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	たよりを作成する際には、必ず全職員と内容を確認し合い子どもにあったプログラムを提供できるようにしている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	インターネットや他事業所への見学を通じて活動の取り組みについて情報を収集している	職員間で役割分担をしながら季節の遊びや壁面など、目で見えて楽しむ工夫や体験できる活動を考えている

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	朝の9時からミーティングを行っている	今後もチームとして支援を行っている意識づけを行いながら役割分担等を明確にしてい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	記録を取る際に、気付き等を話す	記録の短縮化に向けて試行錯誤している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		記録の内容を活用できるような仕組みを考えていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		担当者または、管理者が参加している
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	事前の施設見学を実施したり、見学に同行するなど情報を交換している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	事前に見学をしたり、引継ぎシートの作成	引き継ぐ際のポイントを職員間で共有し、ばらつきがないようにする
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	0		適任の職員が参加し、復命を受けている
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	8	合同避難訓練や子育て支援センターで遊ぶなど、少しずつ交流する機会が増えている おまつりごっこを開催する 交流に向けての活動を行っている	地域との交流、開かれた事業所になれるように日々のなかで信頼関係を築いていく。そのためには季節ごとの行事に招いたり、地域にある資源を活用した企画を考えていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0		ペアレント・トレーニングの開催を周知しているが、なかなか参加者が揃わないことが悩み	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		基本の徹底
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	就学説明会での保護者同士の座談会、おしゃべり会、保護者同士で交流する機会を設けている 保護者会や就学説明会、おしゃべり会で保護者同士が話をする時間が設定されており、情報交換する場となっている 父母の会やきょうだい同士の交流に向けた活動はない	保護者同士の交流の場、きょうだい同士の交流の場、父母の会に変わるような企画を保護者の意見を聞き取りながら考えていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		引き続き、相談支援員と連携を図る
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	研修の案内をホームページにて掲載している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	おたより帳の入れ違い対策をしている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2	あゆみ開放日がある おまつり企画が今後、地域に向けて発展できそうのため、計画的に準備をすすめる	開放日の周知や長門独自の取り組みに引き、保護者の憩いの場を増やしていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1		周知の徹底
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	アレルギー対応委員会を関係機関と実施し、保護者には献立表の確認や提供するおやつにアレルギー物質が入っていないかひとつひとつ確認をしている	担当者を決め、書類の作成や会議後の復命などしっかり情報共有できる体制をつくっている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		気付き等があればその場で、ヒヤリハットを作成して職員間で周知している
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		年1回は必ず研修を実施し、参加できなかった職員には復命をしている
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0			